

# 初心者のための バーバラ式文書作成術(・ω・)★

ERチーム

前田晃治 蔵田美優  
小嵯梨沙 曾根勝有紀



大阪市立大学商学部  
宮川研究室

# 文書作成の手順

1. 導入部を考える
2. トップダウン型アプローチでピラミッドを作る
3. ロジックの順序を確認する

# 導入部の3つのポイント

1. 知識を思い起こさせるためのもの
2. 導入部の長さは読み手の必要性和文書のテーマによる
3. 読み手の集中を高めるためにストーリー形式を用いる

# ストーリー形式とは(1)

常に、読み手が知っていることを物語風に伝える。

「状況」(Situation)



「複雑化」(Complication)

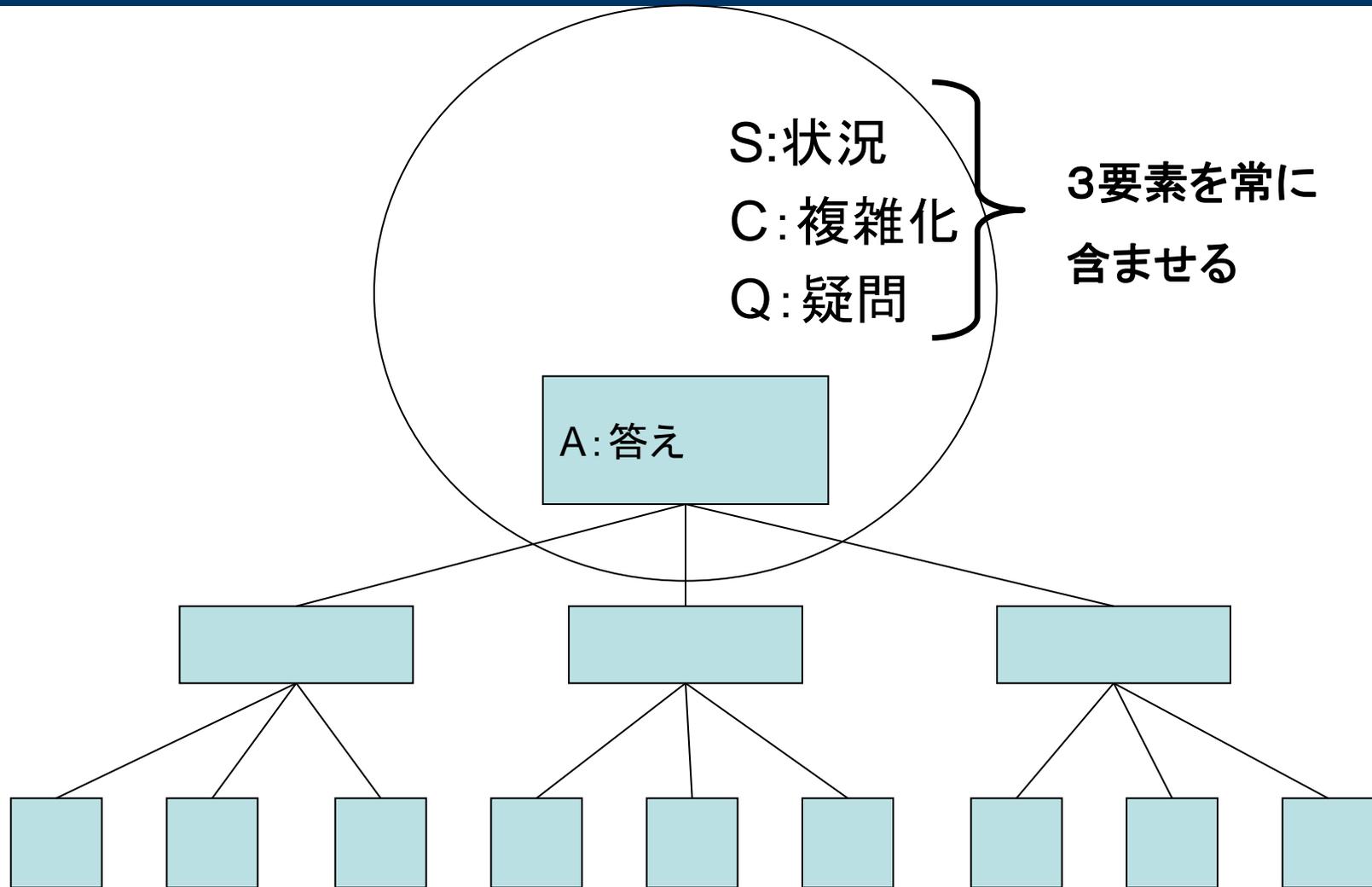


「疑問」(Question)



「答え」(Answer)

# ストーリー形式とは(2)



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# 宮川ゼミを日本一にしよう！！

<読み手> 宮川ゼミ2期生

S)「状況」: 私たちは日本一ではない

C)「複雑化」: 日本一にする方法を知っている

Q)「疑問」: 日本一にする方法は？

A)「答え」: 個人の能力を向上させる

※日本一の定義: 他者から認められる

# 文書作成の手順

1. 導入部を考える
2. トップダウン型アプローチでピラミッドを作る
3. ロジックの順序を確認する

# トップダウンとは

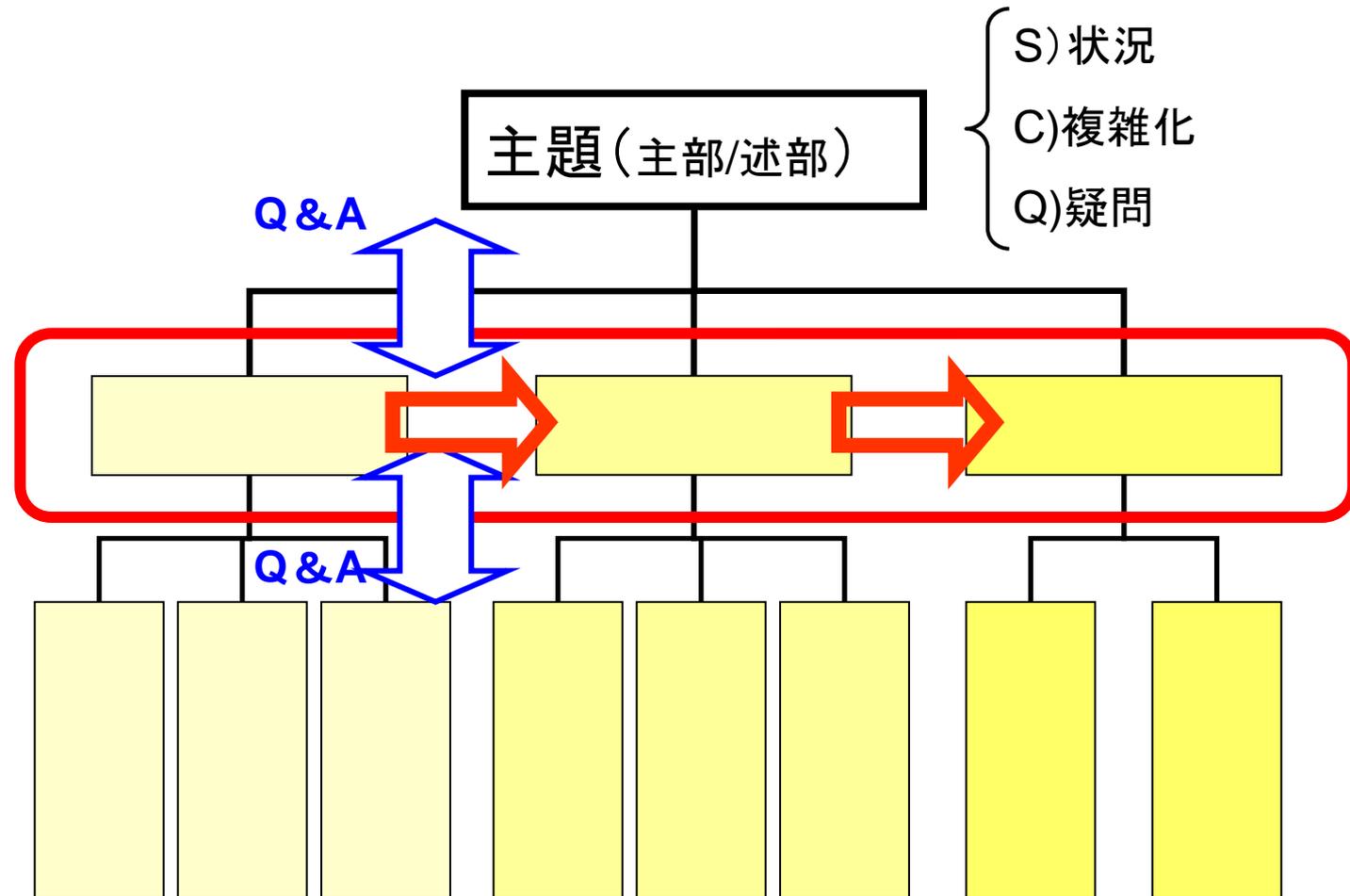
ピラミッドの上の部分から下に向かって書く方法

→人間はトップダウンに考えを記憶しようとするので、始めからトップダウンで考えを述べるとより容易に理解することができる

→トップダウン型アプローチは初心者適切

# 概要

キーライン  
MECE



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

## トップダウン型アプローチの ピラミッドの作り方

(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

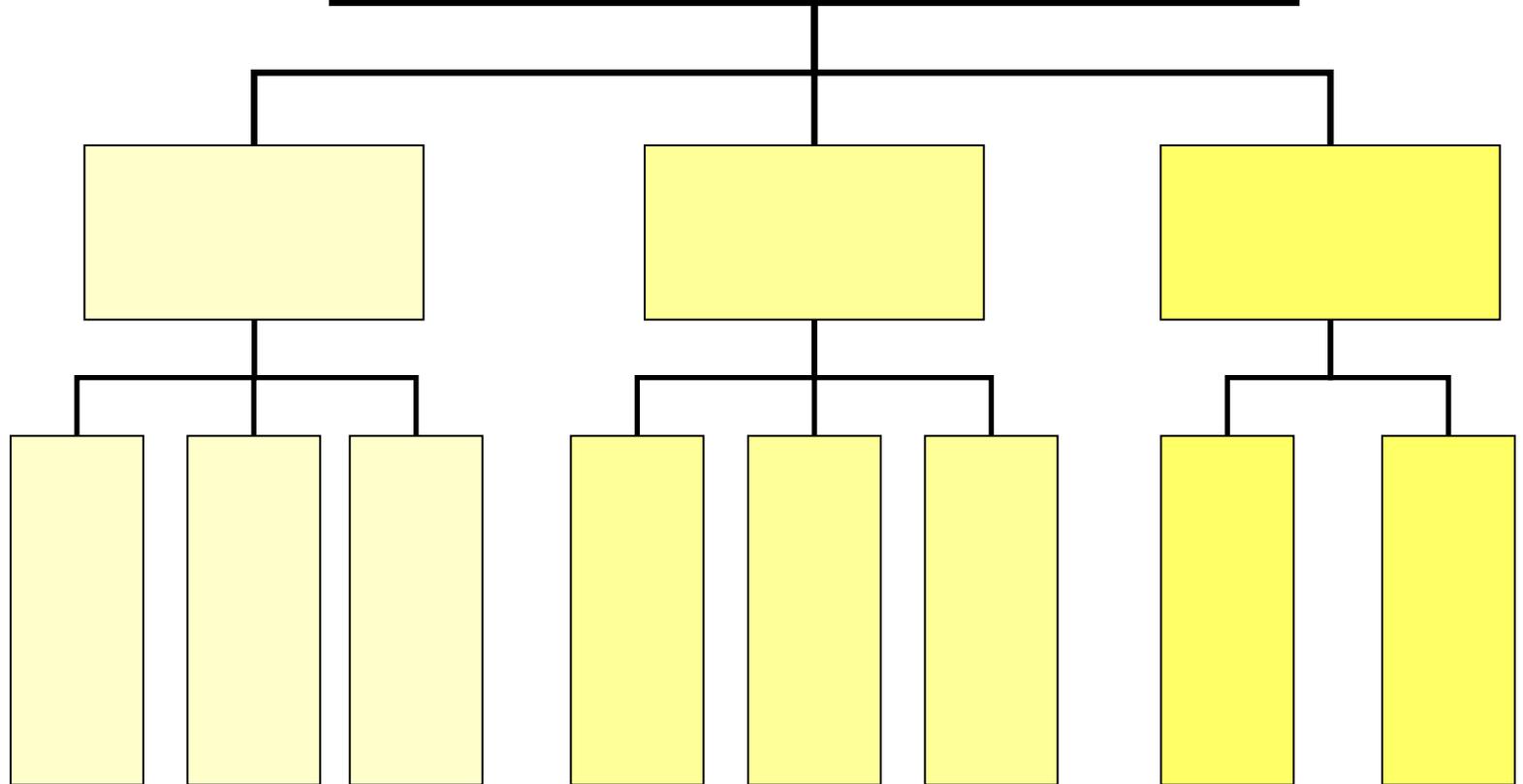
# ピラミッド最上部の箱を埋める(1)

## 1. 「主題」は何か

ピラミッドの頂上に箱を描き、伝えたいメインテーマである「主題」を書き込む

⇒宮川ゼミを日本一にするためには

# 宮川ゼミを日本一にするには



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# ピラミッド最上部の箱を埋める(2)

## 2. 「疑問」は何か

- ①読み手が誰であるのか
- ②主題について読み手のどんな「疑問」に答えようとしているのか

⇒①宮川ゼミ2期生

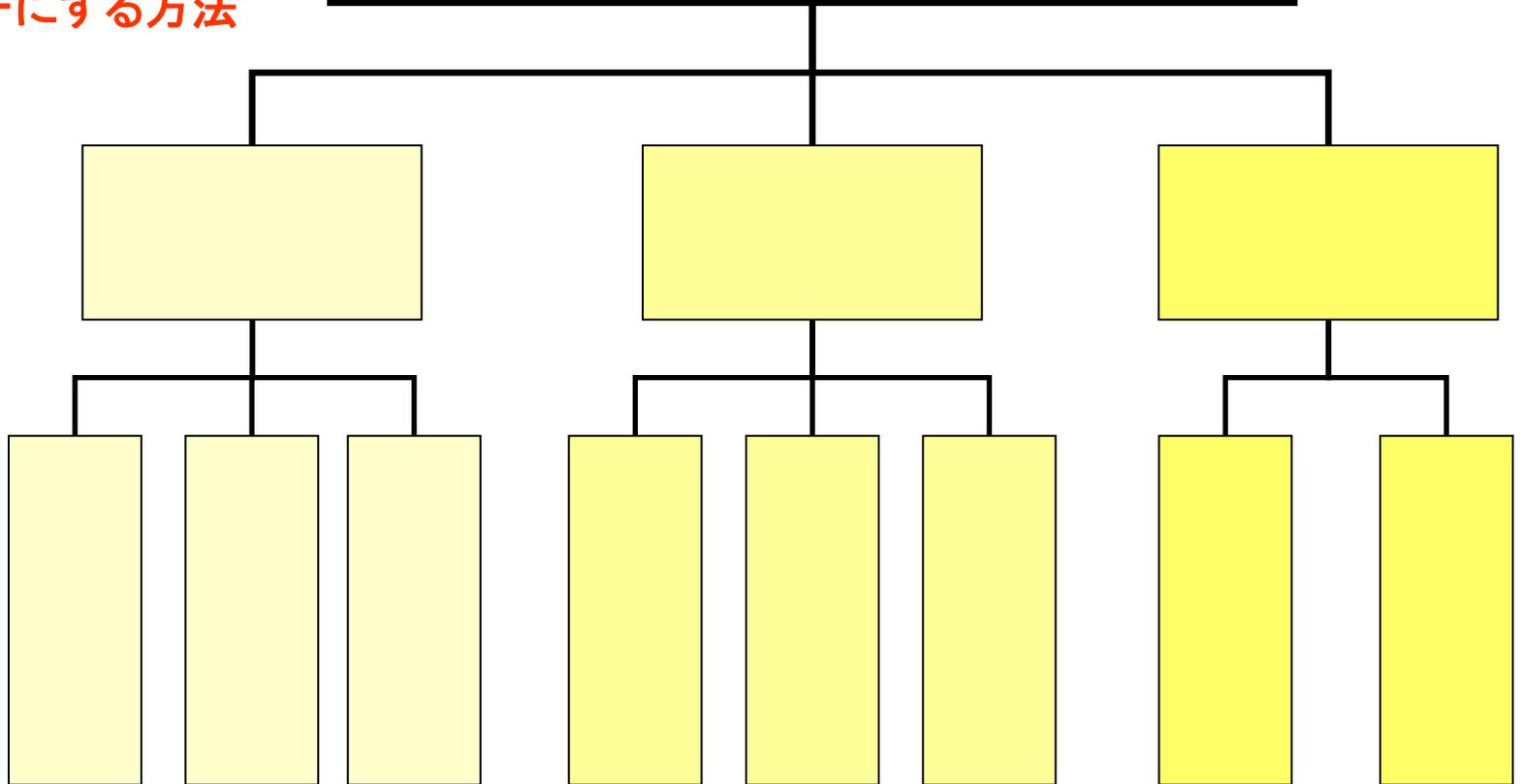
②宮川ゼミを日本一にする方法

# 宮川ゼミを日本一にするには

S)

C)

Q)日本一にする方法



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# ピラミッド最上部の箱を埋める(3)

3. 「答え」を書く

2. の疑問の答えを書く

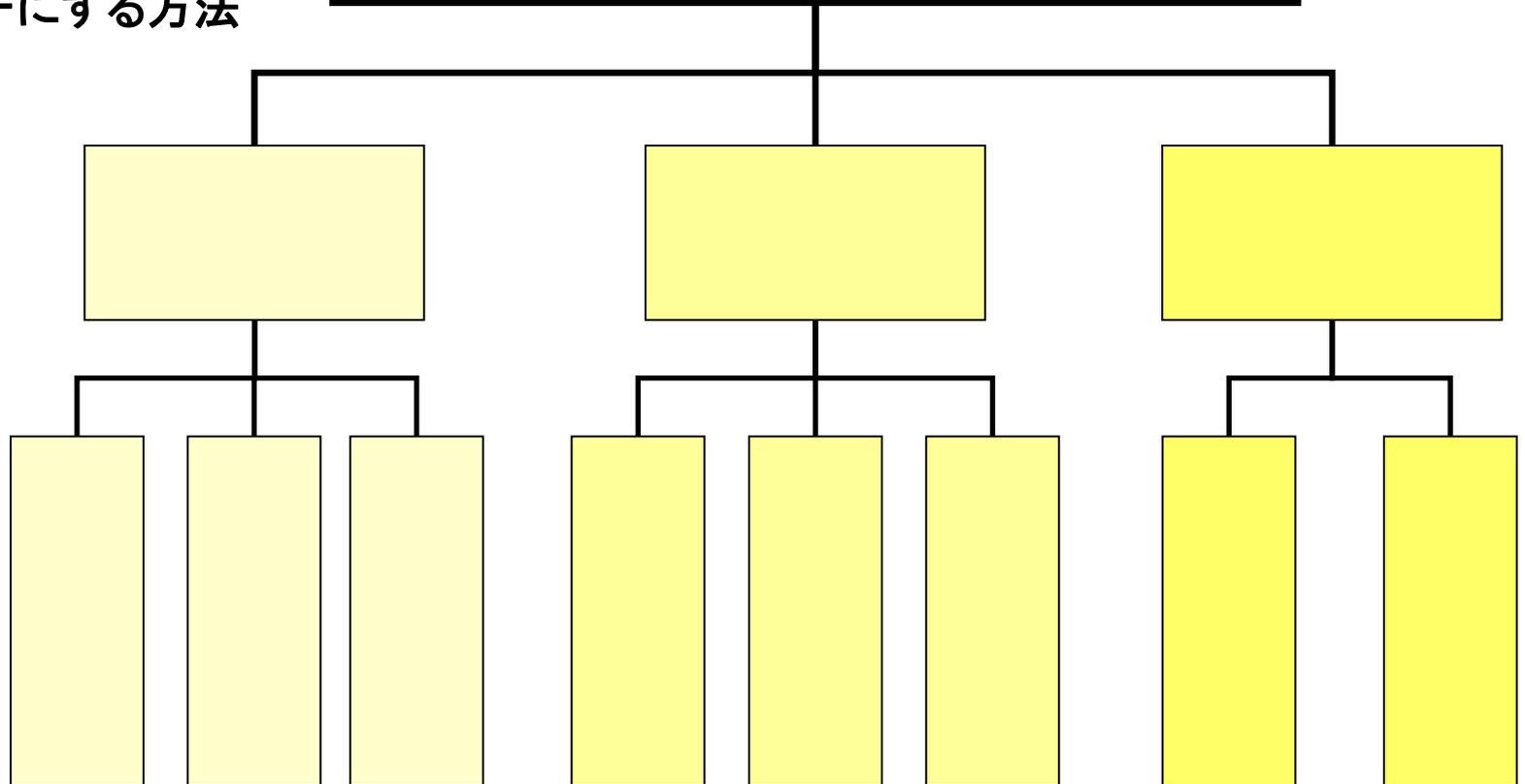
⇒能力を向上させる

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させる

S)

C)

Q)日本一にする方法



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# 答えを導入部に一致させる(1)

## 4. どのような「状況」か

「主題」に沿って「状況」について読み手が納得することを書く

- ・読み手が知っていること
  - ・歴史的事実
  - ・容易にチェックできること
- のいずれか

⇒ 日本一でない

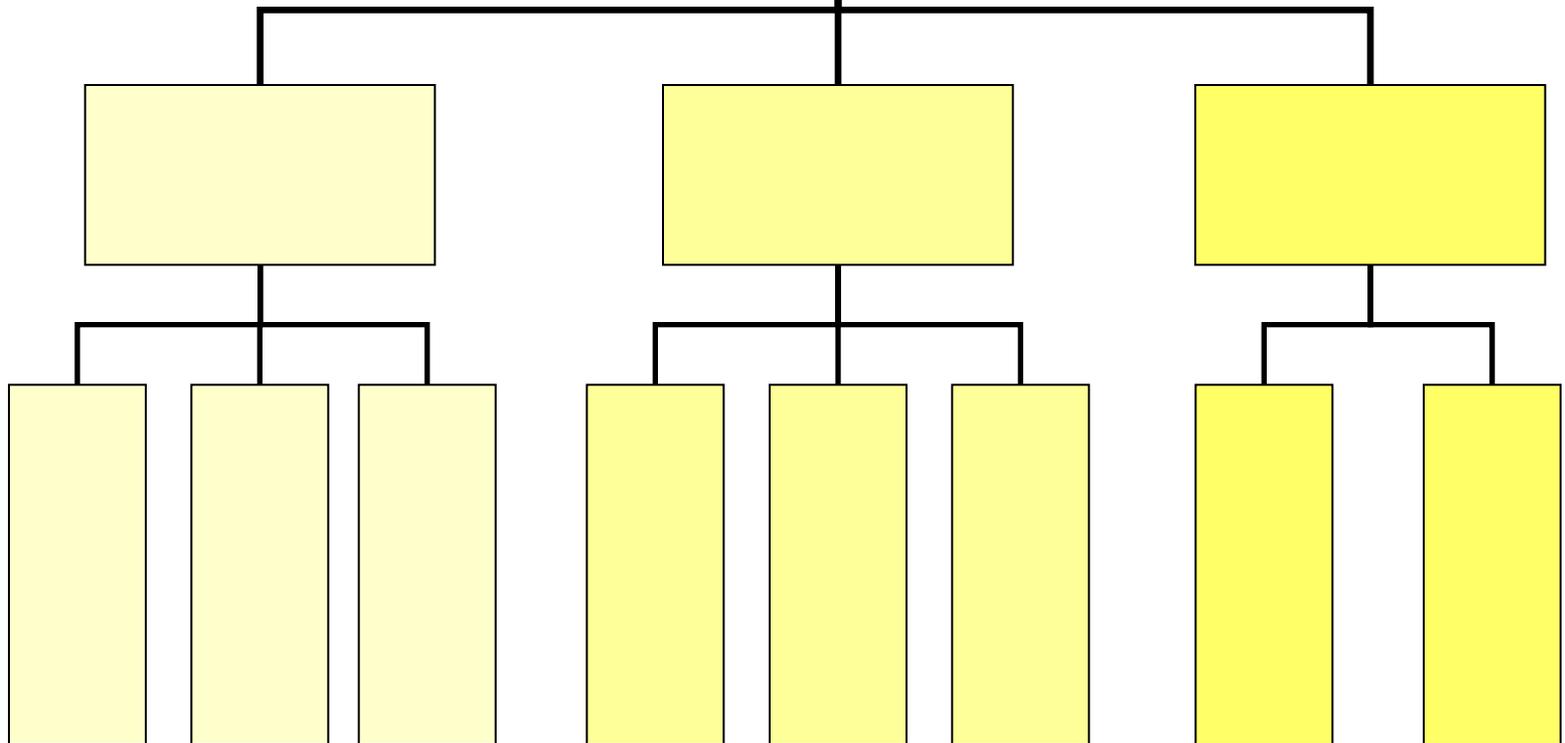
S)日本一でない

C)

Q)日本一にする方法

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させる

```
graph TD; A["宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させる"] --> B1[ ]; A --> B2[ ]; A --> B3[ ]; B1 --> C1[ ]; B1 --> C2[ ]; B1 --> C3[ ]; B2 --> C4[ ]; B2 --> C5[ ]; B2 --> C6[ ]; B3 --> C7[ ]; B3 --> C8[ ]
```



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

## 答えを導入部に一致させる(2)

### 5. どのような「複雑化」が生じたか

Q&A応答をやってみて、読み手が  
“なるほど。それで何なの？”となる段階で、  
疑問の引き金になった状況の変化が何だった  
のか考える

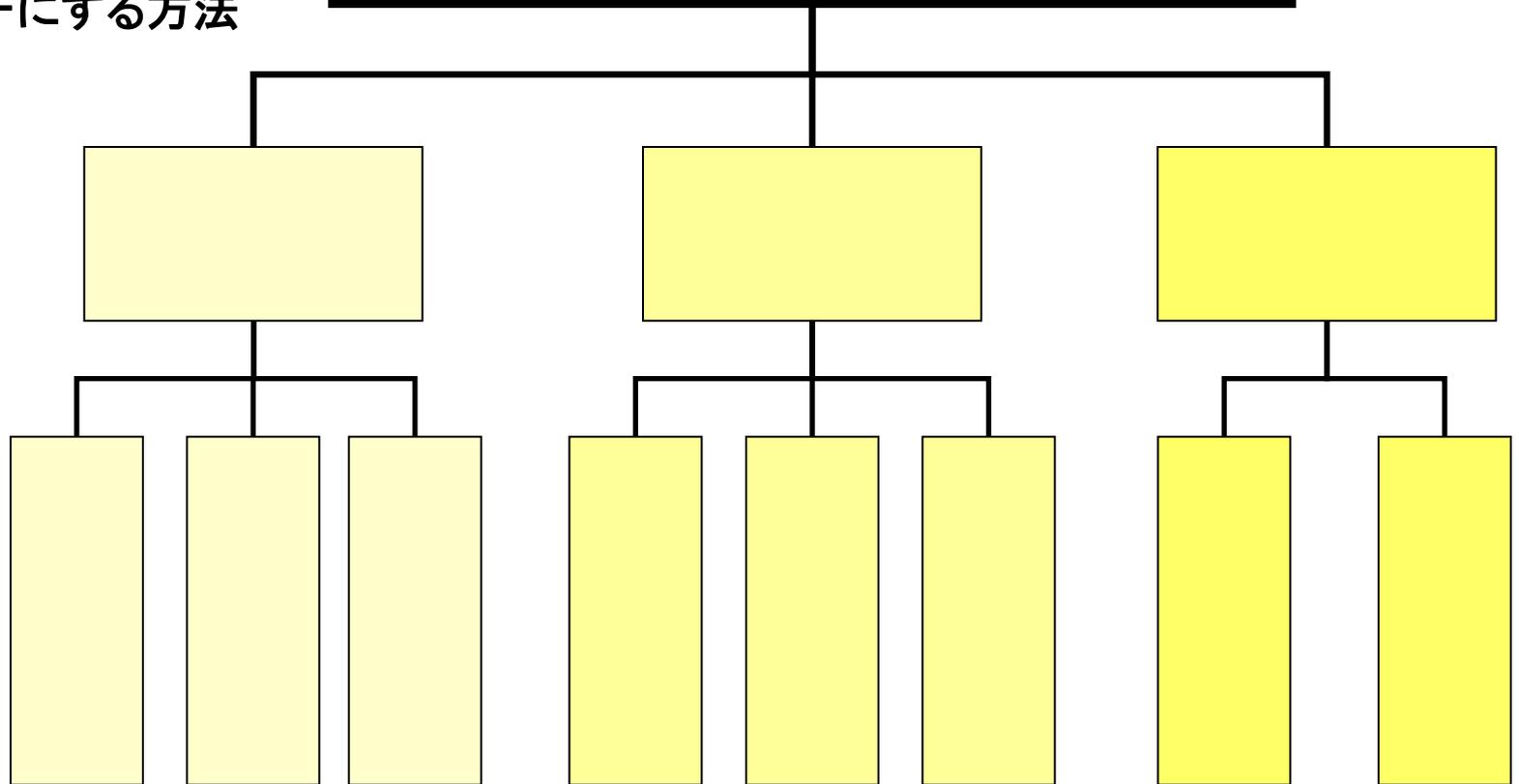
⇒宮川ゼミを日本一にする方法を知っている

S)日本一でない

C)方法を知っている

Q)日本一にする方法

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させる



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

## 答えを導入部に一致させる(3)

6. 「疑問」と「答え」は読み手の考えに合ったものか

複雑化について記述して、すでに書き留めた  
「疑問」が即座に生じるか確認する

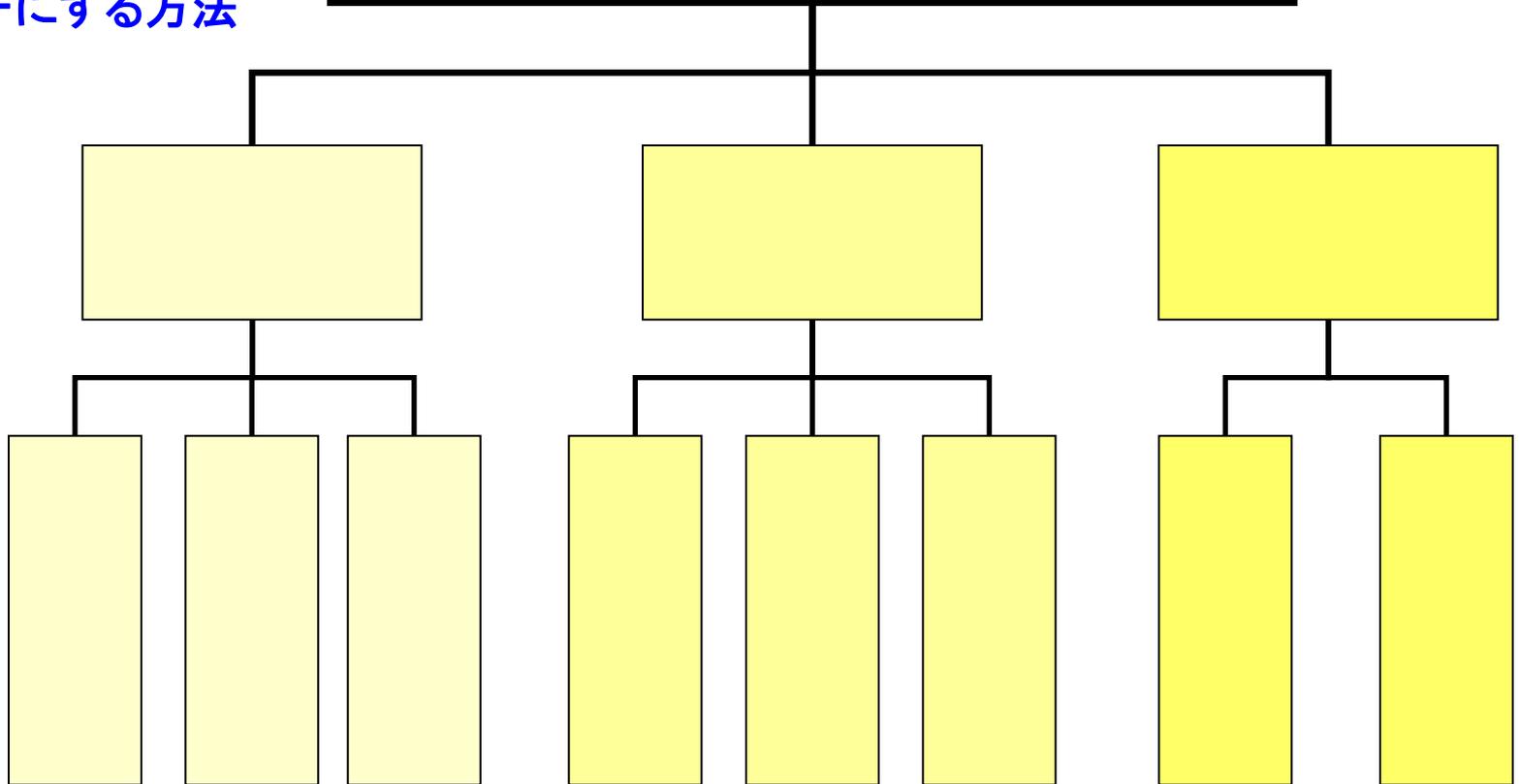
⇒ 日本一にする方法

この「疑問」に対応する「答え」を確認する

⇒ 能力を向上させる

- S)日本一でない
- C)方法を知っている
- Q)日本一にする方法

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させる



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# キーラインを見つける(1)

## 6. 「新たな疑問」は何か

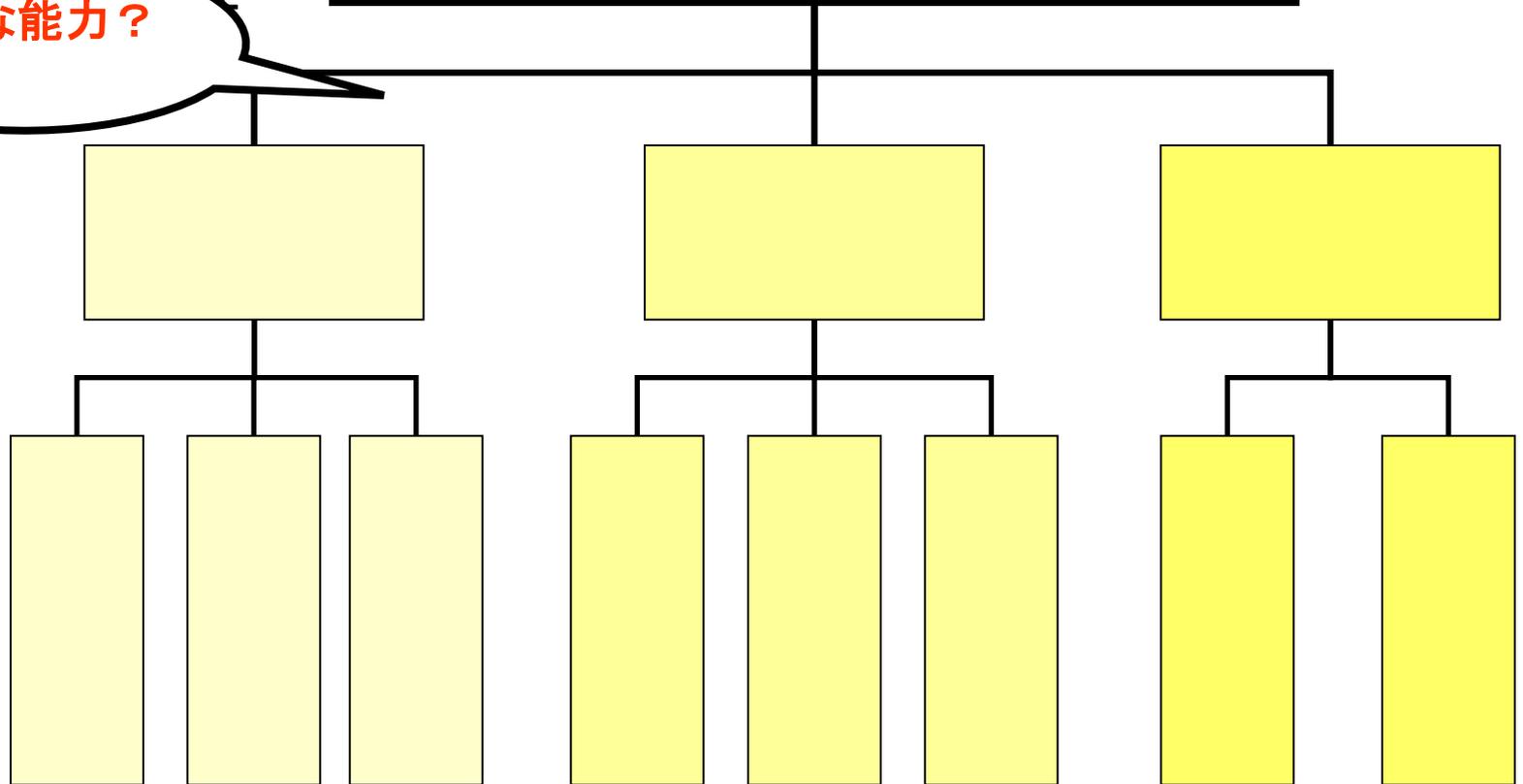
答えから新たにどのような疑問が生じるか考える

⇒どんな能力？

S)日本一でない  
C)方法を知っている

どんな能力？

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させよ



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

## キーラインを見つける(2)

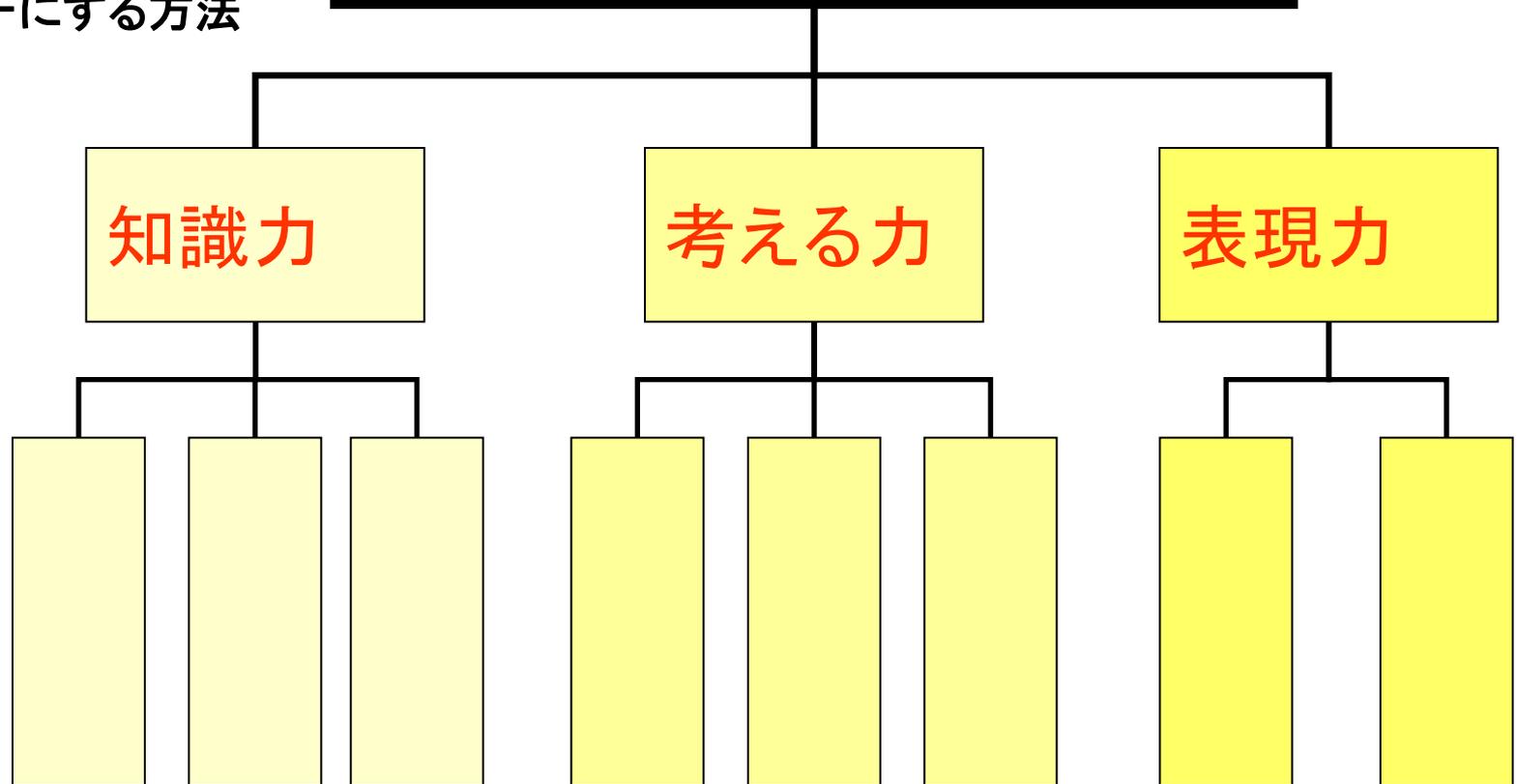
### 7. 演繹的に答えるか、帰納的に答えるか

※初心者は展開が単純になり、より効率的にメッセージを伝えられるので帰納法が適する

⇒知識力・考える力・表現力

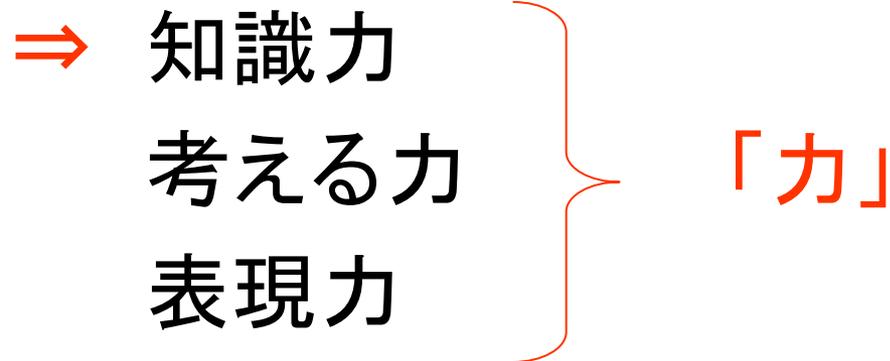
- S)日本一でない
- C)方法を知っている
- Q)日本一にする方法

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させよ



# キーワードを見つける(2)

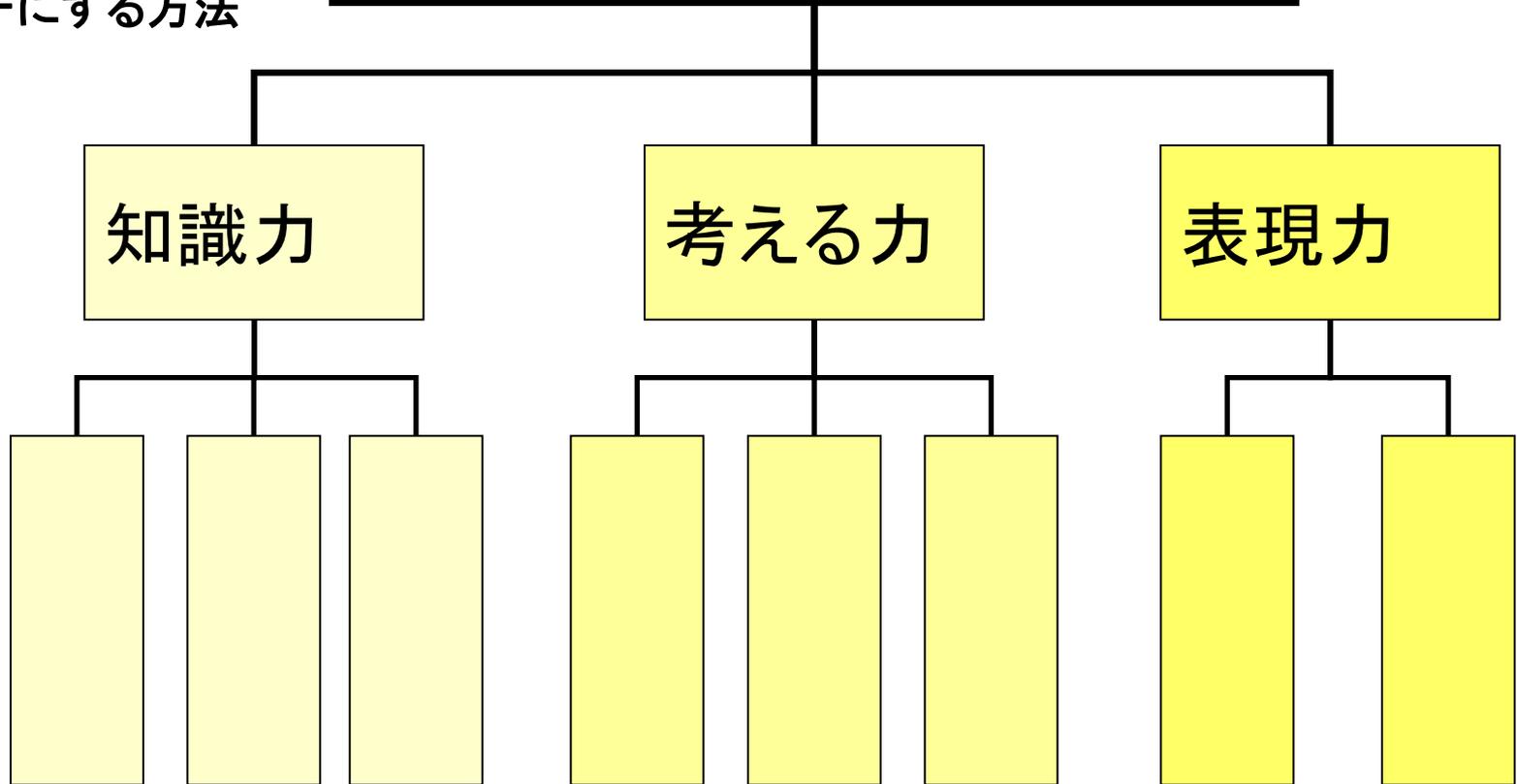
## 8. 帰納ならば同一名詞でくれる



- S)日本一でない
- C)方法を知っている
- Q)日本一にする方法

宮川ゼミを日本一にするには  
A)能力を向上させよ

力



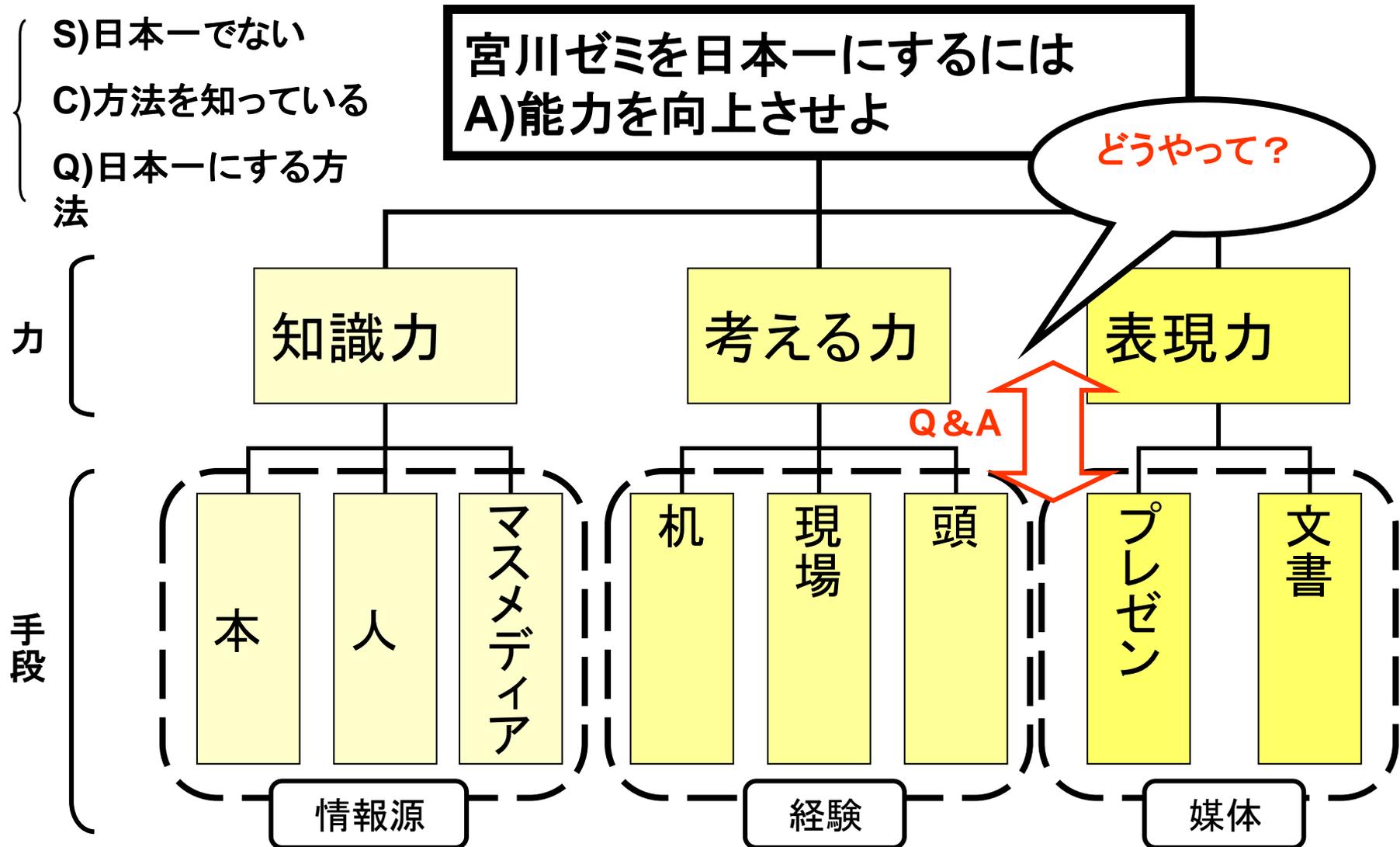
(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# 作業の目的

どのような「疑問」に答えようとしているのか  
正しく、かつ確実に認識することにある

以下、ピラミッドの下層を同様に作っていく

⇒ { Q & A形式  
    同じラインはMECE

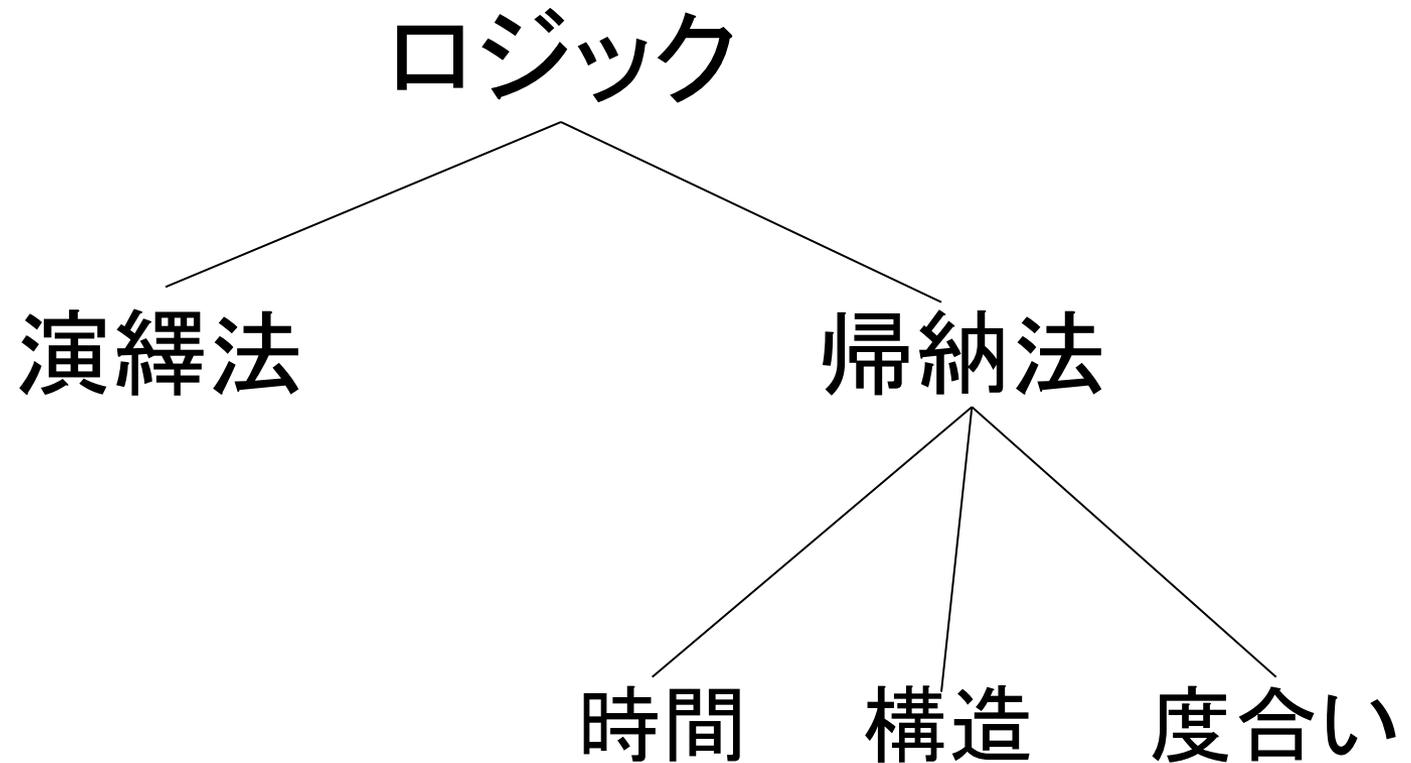


(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# 文書作成の手順

1. 導入部を考える
2. トップダウン型アプローチでピラミッドを作る
3. ロジックの順序を確認する

# ロジックの順序を確認する



# 帰納法における3つの順序

時間の順序

時系列に並べ替える

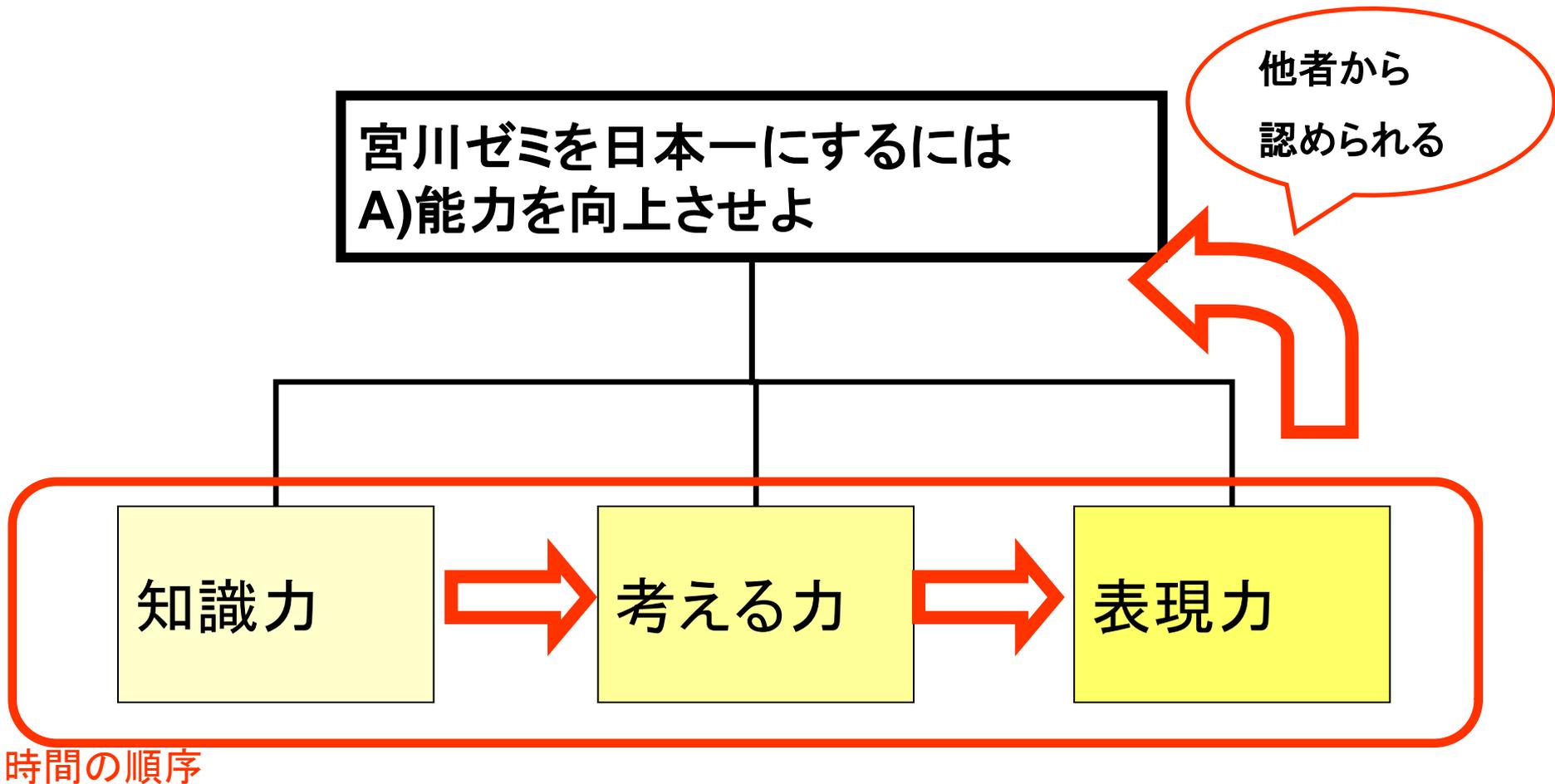
構造の順序

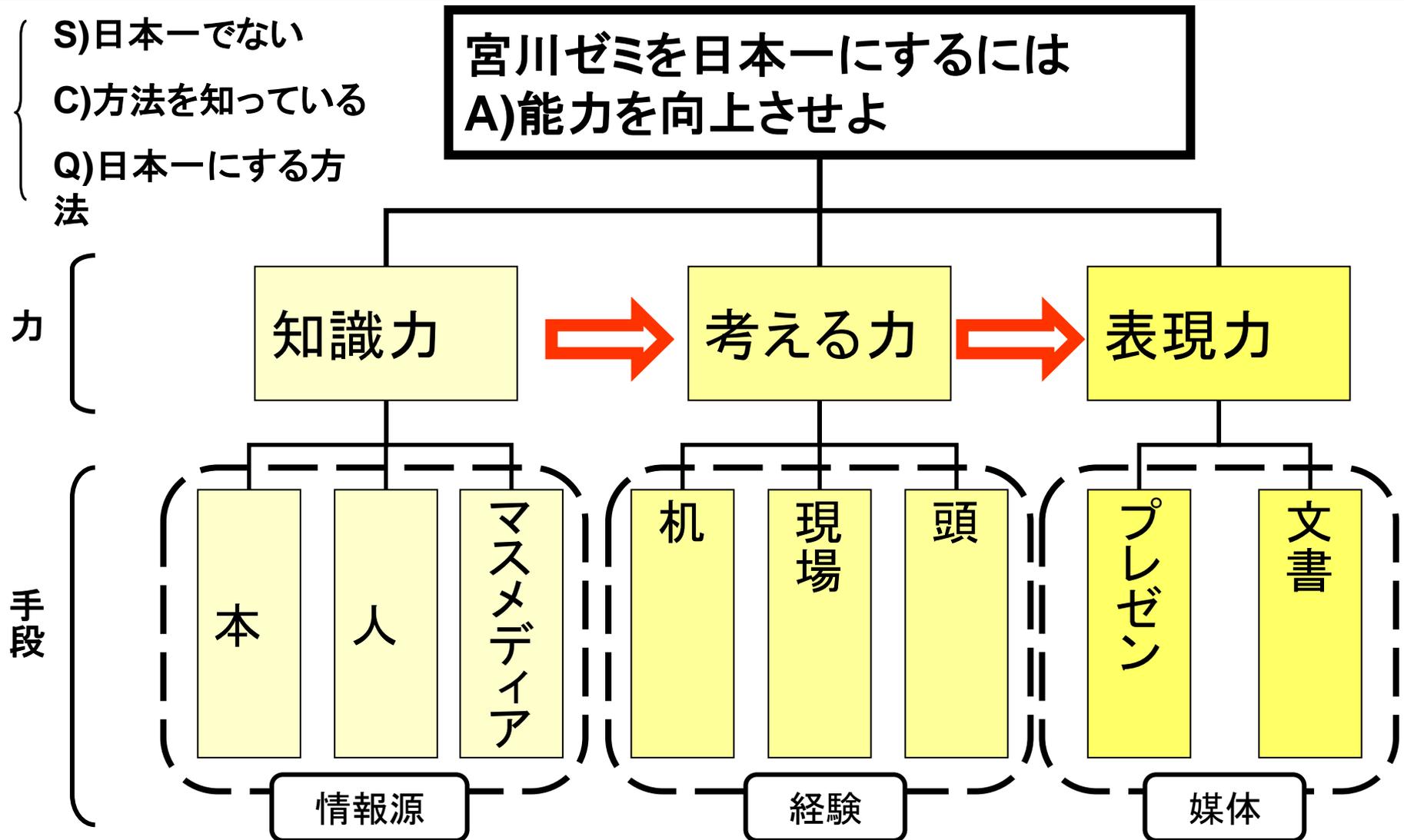
全体を部分に分ける

度合いの順序

重要度で分類する

# 今回のキーラインは・・・





(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

知識力・考える力・表現力を  
身につけて



宮川ゼミ春合宿 2012  
2/15-16

宮川ゼミを日本一にしよう!!!!